

平成 28 年度
事業計画書

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

公益社団法人日本ボート協会

平成 28 年度事業計画（概要）

平成 28 年度においては、本会の二大方針である「国際競技力の向上」、「ボート人口増大」を引き続き、着実に実現する為、定款に定める各事業を推進する。特に、以下の事業に重点的に取り組む。

「日本の地域社会でボート競技の普及を図る」においては、平成 24 年度から 26 年度にかけて実施した普及プロジェクトにおける検討に基づき、推進策を継続する。また、全国ボート場所在市町村協議会との連携をさらに強め、2020 年オリンピック事前キャンプ誘致及び物的・人的環境の整備を働きかけ、普及活動を強化していく。更に、第 29 回全国マシニング大会を開催し、前年を超える参加者を募るとともに、全国的に世代を超えたボート普及活動の幹として展開していく。

併せて、「お台場レガッタ 2016」の開催及び関係団体の支援活動を行うとともに、タレント発掘活動と連動し、ボート人口の増大、新たなボート競技に接する機会の創出を目指す。また、将来的には総合的な競技力の向上にも繋がる活動を目指した普及活動を展開する。

「ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上を図る」においては、2020 年東京オリンピックにおける日本ボート界悲願のメダル獲得に向けた、最も重要な事業と位置付け、今夏に行われるリオデジャネイロオリンピックの出場権獲得と、上位入賞を目指す。更に、新たに外国人スタッフを加えた強化マネジメント体制ならびにコーチ体制を強化する。また、強化戦略プランのもとに中長期的視野も踏まえた、ジュニアからシニアの一貫した国際競技力の向上のための計画を実行する。具体的には、フィジカル・フィットネスの強化を含め、世界に伍していくため質量両面における国内強化合宿の継続並びに増強を目的に総計 35 回の国内強化合宿を行う。また、日本スポーツ振興センターの活動助成を昨年度に引き続き受け、ボートに適したタレントを有する選手の発掘を推進する為、今年度もトライアウト活動を継続するとともに、発掘した選手の育成に重点を置き活動を推進する。

「ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会を開催する」においては、今年度は昨年と同じく 12 大会を開催する。本年は、全日本軽量級選手権大会、全日本社会人選手権、全日本大学選手権、オックスフォード盾レガッタ及び全日本選手権の 5 大会を埼玉県・戸田ボートコースで行う。また、全日本マスターズレガッタ及び全日本ジュニア選手権を熊本県・斑蛇口湖ボートコース、全日本中学校選手権を石川県・津幡ボートコース、全日本高等学校選手権を島根県・さくらおろち湖、全日本新人選手権を宮城県・長沼ボートコース、国民体育大会を岩手県・田瀬湖ボート場、全国高等学校選抜を静岡県・天竜ボート場でそれぞれ行う。

「日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会へ派遣する」においては、新たに代表選考会議を設置するとともに当該規定を制定し、派遣基準並びに選考過程を明確化し、シニア、U23 及び U19 日本代表選手を選定する。大会派遣については、シニアは 4 月のリオデジャネイロオリンピックアジアオセアニア大陸予選を皮切りに、オリンピック最終予選、ワールドカップ第 1 戦・2 戦・3 戦、リオデジャネイロオリンピック、世界選手権へ派遣する。また、U23 は世界 U23 選手権、ジュニアは世界ジュニア選手権並びにアジアジュニア選手権に派遣する。

「ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定」においては、ボートコースの新規・更新認定業務を都道府県協会、コース管理自治体等と協力して、本年度は 6 コースについて認定業務を行う。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会に関連する事項として、東京都が計画している「(仮

称) 海の森水上競技場」の建設に関して、引き続き実施設計、競技運営上並びにオリンピック後の利用等の課題について、協議を継続して実施する。また、オリンピック事前キャンプ誘致に関し、各自治体と連携し、ボートの普及のみならず国内ボートコースの充実と地域振興につなげたい。

「ボート競技の研究・指導・審判員及び指導者の育成、ボートに関する広報事業」においては、調査・研究の分野では、医科学上の見地から選手の体力・潜力に関する研究を前年に引き続き行う。

審判員の育成に関する事業は、審判員の大会派遣、研修と養成の定期的な実施に加えて、FISA、ARF主催の国際大会へ国際審判員を派遣して、国際的な場での活動を通じて、ボート競技の振興に努めたい。

また、指導者のレベル向上を図る為、指導者養成講習会の開催を中心として、インストラクター、セーフティアドバイザー養成事業を、引き続き着実に実施するとともに、今年度は上級コーチ養成事業を行う。特に、各種の指導者養成は、競技者人口の増大・強化に密接に関わることであり、養成講習会の開催回数の増加、開催場所の広域化を通じて参加者の増大を図る。

ボートに関する広報事業については、「ローイング」の定期発行、ホームページのグレードアップ、コンテンツの充実にも努めるとともに、メディア懇談会を実施しメディアへの対応も積極的に行う。

メディカルサポートについては、協会主催大会の医事業務、ドクターとトレーナーの連携により、選手のコンディショニングの管理、スポーツ栄養に関する啓蒙活動を行う。また、体力測定はJISSと連携しながら定期的に測定を行い、ジュニア世代からシニアまでのデータの蓄積を行う。

アンチ・ドーピング検査は、今年度も toto 助成事業として、国内 4 大会、50 検体について実施する。

「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」においては、「暴力問題」及び「各ハラスメント撲滅」に引き続き注力したい。更に裁定委員会制度、内部通報制度、コンプライアンス規定の啓蒙並びに運用について強化したい。

また、日本ボート界の悲願であるオリンピックでのメダル獲得のための資金確保策として、強化募金並びに関係各所からの助成金、協賛金の獲得に努力する。

以上

平成 28 年度実施事業

本会は、ボート競技を振興して、日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することにより、わが国の文化の向上に寄与することを目的として、下記の事業を行う。

1. 日本の地域社会でボート競技の普及に関する事業

本年度は、以下の事業を実施して、ボート競技の普及に取り組む。

(1) 全国ボート場所在市町村協議会との連携

平成 24 年度にスタートした「ボート競技普及プロジェクト」の推進を通じ、「全国ボート場所在市町村協議会」加盟の各水域をはじめ、全国主要水域のボート普及環境の整備をはじめとした活動を行う。また、2020 年東京オリンピックの事前キャンプ誘致について、連携して推進して行く。

(2) 全国マシローイング大会の開催

第 29 回全国大会を平成 28 年 10 月～平成 29 年 1 月の間、全国 9 ブロックに加え、全国 19 拠点で開催する。また、上位入賞者を、平成 29 年春に行われるアジアボート連盟主催の 2017 アジアインドアローイング選手権大会に派遣する。

(3) 「お台場レガッタ 2016」の開催

ボート人口増大、魅力向上プロジェクトの一環として、一般愛好者、初心者参加を募り、参加者、観客が共に楽しみ、ボート競技の魅力を体感できる「ボートイベント」を 6 月 19 日（日）、東京都内のお台場海浜公園で開催する。本事業は、日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金事業の「スポーツ活動推進事業」として実施する。

(4) 関連団体の活動支援

中学生、高校生及び障がい者のボート競技振興を図るため、全国中学校ボート連盟、全国高等学校体育連盟ボート専門部及び NPO 法人日本パラローイング協会の活動に対し、助成金交付と支援を行う。

2. ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上に関する事業

(1) 選手強化事業

本年度は、以下の選手強化合宿事業を実施する。

区分	チーム名	事業名	開催日程	開催場所
シニア	オリンピック・スカル	4 月強化合宿	4/1（金）～4/18（月）	戸田
	オリンピック・スカル	5・6 月強化合宿	5/10（火）～6/30（木）	戸田
	オリンピック・スカル	7 月強化合宿	7/1（金）～7/30（土）	戸田
	スカル	12 月強化合宿	12/8（木）～12/18（日）	戸田
	スカル	1 月強化合宿	1/13（火）～1/25（金）	戸田
	スカル	2 月強化合宿	2/10（金）～2/20（月）	戸田
	スカル	3 月強化合宿	3/9（木）～3/18（土）	戸田
	オリンピック・スイープ	4・5 月強化合宿	4/1（金）～5/11（水）	戸田
	オリンピック・スイープ	6 月強化合宿	6/6（月）～6/30（木）	戸田
	オリンピック・スイープ	7 月強化合宿	7/1（金）～7/30（土）	戸田

	世界選手権組	4・5月強化合宿	4/1(金)～5/14(土)	戸田
	世界選手権組	5・6月強化合宿	5/20(金)～6/30(木)	戸田
	世界選手権組	7月強化合宿	7/1(金)～7/30(土)	戸田

	チーム名	事業名	開催日程	開催場所
U23	ナショナルチーム	4月強化合宿	4/13(水)～4/24(日)	戸田
	ナショナルチーム	5月強化合宿	5/7(水)～5/22(日)	戸田
	ナショナルチーム	6月強化合宿	6/8(水)～6/20(月)	戸田
	ナショナルチーム	7・8月強化合宿	7/20(水)～8/20(土)	戸田
	ナショナルチーム	12月強化合宿	12/8(木)～12/18(日)	戸田
	ナショナルチーム	1月強化合宿	1/13(金)～1/25(水)	戸田
	ナショナルチーム	2月強化合宿	2/10(金)～2/20(月)	戸田
	ナショナルチーム	3月強化合宿	3/9(木)～3/18(土)	戸田

	チーム名	事業名	開催日程	開催場所
継続強化	ナショナルチーム	4月強化合宿	4/13(水)～4/24(日)	戸田
	ナショナルチーム	5月強化合宿	5/7(水)～5/22(日)	戸田
	ナショナルチーム	6月強化合宿	6/8(水)～6/20(月)	戸田
	ナショナルチーム	7・8月強化合宿	7/20(水)～8/20(土)	戸田
	ナショナルチーム	12月強化合宿	12/8(木)～12/18(日)	戸田
	ナショナルチーム	1月強化合宿	1/13(金)～1/25(水)	戸田
	ナショナルチーム	2月強化合宿	2/10(金)～2/20(月)	戸田
	ナショナルチーム	3月強化合宿	3/9(木)～3/18(土)	戸田

	チーム名	事業名	開催日程	開催場所
ジュニア	ナショナルチーム	6月強化合宿	6/21(火)～6/27(月)	戸田
	ナショナルチーム	7月強化合宿	7/6(水)～7/13(水)	戸田
	ナショナルチーム	8月強化合宿①	8/5(金)～8/14(日)	戸田
	ナショナルチーム	8月強化合宿②	8/15(火)～8/30(火)	戸田
	ナショナルチーム	10月強化合宿①	10/13(木)～10/18(火)	戸田
	ナショナルチーム	10月強化合宿②	10/19(水)～10/28(金)	戸田

(2) 競技者育成事業

本年度は、日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成事業の「将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業」として実施する。

■U19 発掘育成合宿

事業名	開催日程	開催場所
第1次強化合宿	12/15（木）～12/19（月）	埼玉県「戸田ボートコース」
第2次強化合宿	1/16（月）～1/22（日）	埼玉県「戸田ボートコース」
第3次強化合宿	2/13（月）～2/19（日）	埼玉県「戸田ボートコース」

(3) タレント発掘事業

今年度は、くじ助成事業として、以下の事業を実施する。

ア) タレント発掘

トライアウト第一次選考について、各地において通年実施する。また、第二次選考については国立スポーツ科学センターにおいて5回実施する。

イ) メダルポテンシャルアスリート海外遠征

派遣大会	派遣月	派遣国名
ドイツ国際ジュニアレガッタ	5月	ドイツ
ワールドカップ第2戦	5月	スイス
ワールドカップ第3戦	6月	ポーランド
U19・U23世界選手権	8月	オランダ
アジア選手権	9月	中国
香港レガッタ	10月	中国（香港）

ウ) メダルポテンシャルアスリート国内育成合宿

メダルポテンシャルアスリートA～Cにおいては、戸田ボートコースを中心に7回の国内育成合宿を実施する。

エ) タレント育成選手国内育成合宿

タレント育成選手A・Bにおいては、各地において延べ13回の国内育成合宿を実施する。

3. ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会の開催に関する事業

本年度は、全日本選手権大会及び各種競漕会を以下のとおり開催する。

大会名	開催期日	開催地・会場
第9回全日本マスターズレガッタ	5/21（土）～5/22（日）	熊本県「菊池市斑蛇口湖ボート場」
第38回全日本軽量級選手権大会	5/27（金）～5/29（日）	埼玉県「戸田ボートコース」
JOCジュニアオリンピックカップ 第14回全日本ジュニア選手権大会	6/10（金）～6/12（日）	熊本県「菊池市斑蛇口湖ボート場」
第66回全日本社会人選手権大会	7/2（土）～7/3（日）	埼玉県「戸田ボートコース」
第36回全日本中学選手権競漕大会	7/23（土）～7/24（日）	石川県「津幡ボートコース」
第64回全日本高等学校選手権競漕大会	7/29（金）～8/1（月）	島根県「さくらおろち湖ボートコース」
第57回全日本新人選手権大会	8/18（木）～8/21（日）	宮城県「長沼ボートコース」
第43回全日本大学選手権大会	9/22（木）～9/25（日）	埼玉県「戸田ボートコース」
第56回オックスフォード盾レガッタ	9/24（土）～9/25（日）	埼玉県「戸田ボートコース」

第 71 回国民体育大会ボート競技大会 (岩手国体)	10/6 (金) ~10/9 (日)	岩手県「田瀬湖ボート場」
第 94 回全日本選手権大会	11/10(木)~11/13(日)	埼玉県「戸田ボートコース」
第 28 回全国高等学校選抜大会	29/3/18 (土) ~3/20 (月)	静岡県「浜松市天竜ボート場」

4. 日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会に派遣することに関する事業

(1) 国際競漕大会派遣事業

本年度は、以下の国際競漕大会に日本代表クルー・役員を選定して派遣する。

■シニア

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
ワールドカップ I	4/15 (金) ~4/17 (日)	イタリア・バレーゼ
オリンピック大陸予選	4/23 (金) ~4/25 (日)	韓国・忠州
オリンピック世界最終予選	5/23 (月) ~5/25 (水)	スイス・ルツェルン
ワールドカップ II	5/27 (金) ~5/29 (日)	スイス・ルツェルン
ワールドカップ III	6/17 (金) ~6/19 (日)	ポーランド・ボズナム
リオデジャネイロ五輪	8/6 (土) ~8/14 (日)	ブラジル・リオデジャネイロ
世界選手権	8/21 (土) ~8/28 (日)	オランダ・ロッテルダム

■U23

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
世界U23 選手権	8/21 (土) ~8/28 (日)	オランダ・ロッテルダム

■ジュニア

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
世界ジュニア選手権	8/24 (水) ~8/28 (日)	オランダ・ロッテルダム
アジアジュニア選手権	10/24 (月) ~10/27 (木)	タイ・パタヤ

(2) 国際審判員派遣事業

平成 26 年度は、以下の FISA 主催国際競漕大会へ国際審判員を派遣する。また、ARF 主催国際大会には 5 大会 8 名の国際審判員を推薦している。

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地	審判員 (所属協会)
ワールドカップ I	4/15 (金) ~17 (日)	イタリア・バレーゼ	中島大祐 (東京)
オリンピック大陸予選	4/23 (金) ~4/25 (日)	韓国・忠州	田畑喜彦 (愛知)
ワールドカップ III	5/27 (金) ~5/29 (日)	ポーランド・ボズナム	松田雅彦 (神奈川)
リオデジャネイロ五輪	8/6 (土) ~8/14 (日)	ブラジル・リオデジャネイロ	隈元幸治 (神奈川)
世界選手権	8/21 (土) ~8/28 (日)	オランダ・ロッテルダム	田畑喜彦 (愛知)
世界U23 選手権・世界ジュニア選手権	8/21 (土) ~8/28 (日)	オランダ・ロッテルダム	田畑喜彦 (愛知)
FISU 世界選手権	9/2 (金) ~9/4 (日)	ポーランド・ボズナム	塚田秀樹 (京都)
世界マスターズ	9/8 (木) ~9/11 (日)	デンマーク・コペンハーゲン	松田雅彦 (神奈川)

※別途、オリンピックアジアオセアニア大陸予選の大会審判長として、千田隆夫氏が指名されている。

(3) 国際関係事業

アジア及び世界のボート界における日本のステータスと国際競技力を高めるための事業を行う。

ア) 国際連盟の事業方針、競技規則、大会開催計画、各国の動向など、最新情報を把握するため、本年度は、FISA、ARF 総会へ担当役員他を派遣する。

会議名	会議日程	開催国・会場
世界ボート連盟 (FISA) 通常総会	8 月	オランダ・ロッテルダム
アジアボート連盟 (ARF) 総会	9 月	中国・嘉興

イ) 国際連盟の運営に参画する為に、FISA、ARF の下記各役員を各会議等に派遣する。

国際連盟役職	氏名	本会役職
FISA 審判委員 ARF 審判委員	千田 隆夫	理事・国際委員長
FISA イベント発展委員	細渕 雅邦	総務委員会オフィサー
FISA スポーツ医科学委員 ARF スポーツ医学委員長	日浦 幹夫	医科学委員会委員
ARF プロモーション・広報委員	加藤 直美	理事
ARF パラローイング委員	岡本 悟	競技委員会オフィサー・パラローイング担当
ARF 競技委員	叶谷 彰宏	国際委員会委員
ARF マスターズ委員	田畑 喜彦	国際委員会委員

(4) 国際大会等に関する事業

今年度は、新たに下記ア) 及びイ) の事業を推進するため 2020 特別委員会を設置する。

ア) 2020 年東京オリンピックのリハーサル大会として行われる、2019 年世界ジュニア選手権大会及び 2020 年東京オリンピック大会の開催に必要な情報の収集と準備を、東京都オリンピック・パラリンピック準備局、2020 オリンピック・パラリンピック組織委員会及び FISA と連携して進める。

イ) 2020 年東京オリンピックの開催に関連して、日本で開催を予定している 2017 年 FISA 臨時総会並びに 2018 年世界コーチカンファレンスの情報収集並びに準備を FISA と連携して進める。

ウ) 日韓交流事業

日本と韓国とのボートを通じた交流を促進する為、隔年ごとにお互いの選手団を招待し合っている。平成 28 年度は、5/27～29 開催の「第 38 回全日本軽量級選手権大会」に、韓国チーム計 6 名（選手 4 名、役員 2 名）を招待する。

5. ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定に関する事業

本年度は、以下の事業を実施する。

(1) コース認定

今年度は、以下の更新認定と新たな申請のあったコースについて実施する。

下諏訪町漕艇場（長野県）・愛知池漕艇場（愛知県）・琵琶湖漕艇場（滋賀県）
 浜寺ポートコース（大阪府）・さくらおろち湖ポートコース（島根県）
 豊田湖ポートコース（山口県）

(2) 競技用具の審査と検定に関すること

ア) 規格艇の審査と登録

本会の規格艇登録規定に基づき、規格艇の審査及び原簿登録に係わる業務を行う。

イ) 規格艇の計測

第 71 回国民体育大会、第 64 回全国高等学校選手権及び第 28 回全国高等学校選抜大会において競漕艇の計測業務を行う。

ウ) 情報収集と提供

競漕艇、レクリエーション艇、オール等の調査・研究・開発に資するため、これら分野の専門的情報を収集し、関係者へ提供する。

6. ボート競技の研究・指導・審判員及び指導者の育成、ボートに関する広報に関する事業

本年度は、以下の事業を実施する。

(1) 調査・研究関係事業

(財) ミズノスポーツ振興財団の助成金交付を受け、下記の調査・研究事業を継続実施する。

ア) 艇上の三次元加速度センサー測定装置を用いた艇の動きに関する調査、研究

(2) 審判事業及び審判員養成事業

ア) 本年度も本会主催・主管大会へ審判長、副審判長、審判員を派遣し、大会審判業務を行う。

イ) 2020 年東京オリンピック開催に向けて、各種国際大会の招致推進に合わせて、当協会の競漕規則について、見直しと改定を行う。

ウ) 審判員の養成と技量向上を図るため、以下の審判員資格試験と認定試験及び審判員研修会と講習会を開催する。

研修会名称	開催日程・場所
第 86 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催)	5/27 (金) ~5/29 (日) 埼玉県戸田市「戸田ポートコース」
公認審判員セミナー (B 級審判員認定試験併催)	6/10 (金) ~6/12 (日) 熊本県菊池市「班蛇口湖ポート場」
B 級審判員認定試験	9/22 (木) ~9/25 (日) 埼玉県戸田市「戸田ポートコース」
公認審判員セミナー	8/21 (木) ~8/24 (日) 埼玉県戸田市「戸田ポートコース」
第 87 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催)	11/10 (木) ~11/13 (日) 埼玉県戸田市「戸田ポートコース」
審判員講習会 (C 級審判員認定試験)	都道府県協会の要請により随時開催

(3) 公認スポーツ指導者養成事業

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業による公認スポーツ指導者養成講習会について、本年度は以下の日程で講習会を開催する。

講習会名	開催日程	開催場所
公認上級コーチ養成講座	平成 29 年 1/6 (金) ~1/9 (月)	愛知県名古屋市・金山 研修センター
公認コーチ養成講習会	11/19 (土) ~11/23 (水)	埼玉県・戸田市
公認指導者養成講習会	前期: 11/26 (土) ~11/27 (日) 後期: 12/3 (土) ~12/4 (日)	大阪府高石市マリン スポーツパーク浜寺
資格更新義務研修	4/22 (金)	中日本レガッタ
	5/1 (日) ~5/4 日 (水)	朝日レガッタ
	日程未定	高体連 3 地区 (東地区・中地区・西地区)

(4) 日本ボート協会認定ボートインストラクター養成事業

本会認定ボートインストラクター養成については、本年度は以下の日程で講習会を開催する。

事業名	開催日程	開催場所	主管団体
義務講習会	4/9 (土) 4/29 (金)	兵庫県加古川市	日本ボート協会・兵庫県ボート協会

(5) 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー研修事業

本会認定セーフティアドバイザー研修については、本年度は以下の日程で研修会を開催する。
なお、本研修は各水域や団体における安全責任者も受講の対象とする。

事業名	開催日程	開催場所
研修会	2 月	埼玉県・戸田市 他 1 ヲ所 (未定)

(6) ボートに関する広報事業

本年度は、以下の事業を行う。

ア) 協会広報誌「ROWING」の発行

本年度は、ボート関係者からのニーズを集約し、大幅なリニューアルを行い、定期発行を行う。

イ) 本会公式ホームページ

ホームページの速報化と強化関連を中心に掲載情報量のアップを図るとともに、現状の本会の事業・広報活動に合わせた内容にリニューアルする。

ウ) 報道機関、マスコミへの対応・協力

東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との関係を密にし、報道を通じて本会の活動の広報に取り組む目的で、メディア懇談会を行う。

また、リオデジャネイロオリンピック代表選手決定に合わせ、壮行会等を通じニュースリリース等をタイムリーに発信し、報道機関へのニュースソース提供を積極的に行う。

(7) メディカルサポート、ドーピング検査事業

本年度は、以下の事業を実施する。

ア) 戸田ボートコース開催の全日本選手権大会 (全日本、全日本軽量級、全日本大学及び全日

本社会人)へ医師、看護師を派遣し、救急医事業務を行う。

- イ) ドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の委託事業として、国内大会において大会内ドーピング検査を実施する。
- ウ) JADAと連携して、競技団体・選手を対象にアンチ・ドーピングに関する普及・啓発講習会を開催する。
- エ) 国内・海外強化合宿、海外大会へ医師、トレーナーを帯同させ、選手のコンディショニング維持・改善及び指導等を行う。

(8) スポーツマンシップの育成と競技者資格の決定に関する事業

本年度は、以下の事業を実施する。

ア) 競技団体及び競技者資格の決定

競技者規定に基づき、平成28年度の競技団体及び競技者の資格決定を行う。

イ) 競技団体、競技者の登録

平成28年度の競技団体、競技者登録を行うとともに、当該年度の登録状況を把握する。

ウ) 審判員管理システムの運用

審判員の資格把握、審判技術の向上、従事履歴等の管理システムを各都道府県単位で管理、運用する。また、研修会で使用した資料の共有、レースで使用する帳票の共有等更にシステムを幅広い用途で使用していく。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 協会財政基盤の強化

日本オリンピック委員会(JOC)、日本スポーツ振興センター(JSC)、その他団体と個人に対して、当協会の実施事業の目的及び重要性についてPRを行い、可能な限りの助成と支援を依頼している。また、公益社団法人に移行したことにより、強化募金については免税措置の利用も可能となり、さらなる支援をお願いするとともに、協会の諸事業、募金活動等を通じて自主財源の確保に努めるなど、積極的に財政基盤の強化に取り組む。

(2) ボート人口増大活動の継続

都道府県ボート協会、全国ボート場所在市町村協議会、その他の関連団体等との連携を通じて、全国のボート関係団体・個人との交流を推進し、ボート人口増大、魅力あるボートライフの創出、イベント企画等を行い、長期的なボート人口増大活動を展開した。また、各地でボート競技の振興を図る為、国内各地のボート競技会開催を後援する。

(3) 公益法人に関する業務の推進

公益法人のもとで協会運営を行うために、必要な各種規定・規則類のさらなる整備をするとともに、その他の関連業務を継続して実施する。

(4) 新たな公益事業、収益事業の創出

公益法人としての事業継続・発展となる新たな事業の創出について調査・検討を行う。

以上